

グランプリ提案「（電動アシスト付）自転車の共用化」について

提案内容

- ・現在の財政課のシステムと同様に、（電動アシスト付）自転車を共用車として扱う
- ・走行距離は3～4Kmを目安とする（例：市役所⇄消防署、六華苑、駅西事務所等の往復）

【現状】

- ・**公用車1台あたり約29万円／年の経費**が掛かっている
- ・事故により、多額の修理費用が発生している

【導入による効果】

- ・リース車の台数、維持費、ガソリン代の削減
- ・職員の健康促進
- ・狭い路地に行く際のリスクを低減できる
- ・目的地によっては、立体駐車場から出し入れする必要の無い自転車の方が早いと考える

実現に向けて

提案者、関係課、政策経営課で協議。

「電動アシストは付いてなくてもいいのでは?」、「今ある自転車を活用できないか」等協議の結果

各課で所有の普通自転車、電動アシスト付自転車を共有できるように!

- ◆使用に関しては所有課が優先となります。
- ◆使用可能な自転車はグループウェアの予約システムで確認できます。
- ◆共有が不可な自転車も有ります。

公用車の削減による歳出削減をしていきます。